

エムエスピーの履歴書

水谷政司 ⑮

公益法人会計の話を前回させていただきました。選定に関してはパッケージ利用か個別開発か、契約条件及び全国の支部利用のための指導や教育の体制はどうなのか、また、ソフトウェアそのものの機能はどうするか等色々ありました。

歴史アーカイブス

具体的な例として上げると、公益法人会計の特徴としての予算管理機能や公益と収益の按分計算ができるのか、会費管理機能では固定請求と従量請求との組み合わせ管理や未収金・未払金管理の全般としての販売管理機能、これら

のデータを支部・本部間で共有する通信機能などがあったために個別開発として仕様を作り仕様に従ったプログラムの設計と開発が必要でありまし

満足したユーザーは最強の営業マン

仕事にパッケージ(既製版)を合せる事の難しさを痛感

た。設計に当たってはユーザーが現在運用しています各種帳票やその連携及び計算式などを整理する事、市販の大番頭などのパッケージソフトの機能を調べて友好的に利用することが、可能な機能が無いかどうかを提案する事など多岐にわたっ

ていました。

ここでも、オフコン担当時の業務解析や会計業務の機能設計知識等、過去におけるパッケージ内容の選定・取扱いの知識が、大いに役に立ったことを思い出します。

特に、開発プロジェクトの会議の中では既存のパッケージソフトを利用

している支部や、社内担当者が EXCEL で自動計算処理を行っている支部などあり「統合システム」の開発・運用に関しての疑問視発言や運用しているやり方を強硬に要望する支部など、様々な意見をとりまとめる必要がありました。

当時、当社は数名規模の会社でしたが統合システムの導入についてのコンサルや事務局をさせて頂き、その時お世話になったユーザー責任者の方は既に他界されましたが、プロジェクトメンバーで



あった数名の方々とは現在でも親交がございます。この時のプロジェクトの進め方、導入稼働のスムーズな移行が評価されたのかどうかはわかりませんが、稼働の一年後に、当時の責任者の方から「知

り合いの団体でも経理の統合システムの採用を検討している」とのお話がありご紹介を受けました。

紹介先責任者の方は紹介元ユーザーとのつながりも深くどちらかというど弟分団体であり、紹介元が新車取りまとめ中心の団体なのに比べ、中古車の評価が中心の団体でした。また責任者同士が先輩後輩という間柄でもありました。紹介先の団体は先輩ユーザーの取組を既に聞いており、『同じプログラムで良いのでお願いしたい』とすんなり契約に至ったものの、やはり企業が違えば業務や管理方法が違うため、ユーザーのプログラムを基にカスタマイズ開発し納品させていただきました。(エムエスピー相談役)